

- 1 教科 題材 3年 美術科 「美術が被災地にできることを考えよう」
- 2 エッセンシャル・クエスチョン

「どのような美術活動が被災地のためになるのだろうか？」



3 題材計画

本題材は、現代美術家ヤノベケンジの作品《サン・チャイルド》をめぐる出来事をもとに、被災地に対する今後の美術活動の在り方を考えていく活動である。《サン・チャイルド》は、2018年に福島市の子ども支援施設前に設置後、市民の反対を受け約2週間で撤去されたことにより、インターネット上で多くの議論が交わされた作品である。

本題材は全2時間で行う。本時では、題材の目標を達成するために情報収集・分析を行う。生徒は上記の出来事を踏まえ、《サン・チャイルド》に対する様々な立場の意見を原因別に分析していく。主にタブレットを活用し、生徒個人でインターネット記事から様々な意見を収集した後、グループ内で共有・分析を行う。第2時では、本時の分析結果をもとに題材目標についてグループディスカッションを行い、タブレット上でまとめて発表を行う。

4 SDGsと学習活動

時間	学習内容	主体的活動を促す手立て	対話的活動を促す手立て	深い学びを促す手立て	E S Dで育てる力と態度、評価	SDGs
10分	導入			《サン・チャイルド》に関する出来事の内容を理解する。		
15分	情報収集	個人でインターネット記事を調べ、どのような意見があったのか調べ、ジャムボードに書き込む。		個人でインターネット記事の内容について調べ、ジャムボードで整理する。	様々な立場の情報を集める力。 (ワークシート・ジャムボード)	
10分	共有・分析		個人で調べた情報をグループで共有し、原因別に分ける。		被災地で美術活動を行う上で、人や社会などのつながりがあることを理解する	

13分	発表	グループでの分析結果を発表する。 他のグループの発表を聞き、メモを取る。			力。(グループ活動・ジャムボード) それぞれのとらえ方を共有しながら、集団で多面的に考えを深める力。(グループ活動・ジャムボード・発表)
2分	まとめ				

5、他との関連

- ・ 修学旅行（学校行事）
- ・ 「地方自治」「情報リテラシー」（公民科）

6、生徒の評価

- ・ 情報分析能力（ワークシート・グループ活動・ジャムボード・発表）
- ・ 多面的に物事を考える力（ワークシート・グループ活動・ジャムボード・発表）

7、次への課題

どのような美術活動が被災地のためになるのか考えよう

8、作品参考画像

